

～灯台 150 周年記念～灯台フォトコンテスト 入賞者決定

我が国初の洋式灯台である「観音埼灯台」は、明治元年11月1日に起工されたものです。その建設事業は、我が国の関係者にとって、土木、建築、機械、天文測位などに関わる技術を学ぶ貴重な機会となり、灯台建設が西洋技術導入の先駆けであったと言われています。

明治元年(1868年)11月1日に日本が近代国家の第一歩を踏み出し、同日を「灯台記念日」と定めてから、平成30年の今年は、満150周年に当たる年です。

『灯台フォトコンテスト』は、そのような灯台150周年を記念して、歴史的、文化財的な建築物としての価値を有し、地域のシンボルとして愛されている「灯台」を、フォトコンテストを通じて多くの方に知ってもらい、その大切さを語り継ぎ、次世代に遺していった欲しいという願いをこめて、写真撮影のテーマを「灯台のある風景」として日本国内にある海上保安庁が管理する現存灯台を対象に開催しました。

更に灯台150周年という記念すべき節目の年に当たることから、灯台が支え続けてきた海洋国家である日本の更なる発展を祈念し、新たに国土交通大臣賞も設けました。

平成30年7月1日～同9月15日の間、「明治期灯台」「わたしたちの灯台」「インスタグラム」の3部門について募集し、写真1197作品、インスタグラム435投稿から、国土交通大臣賞、海上保安庁長官賞、各部門優秀賞、ジュニア賞(小・中・高生)、特別賞を選定しました。

平成30年10月16日

主催 (一財) 日本航路標識協会・(公社) 燈光会

灯台フォトコンテスト入賞作品

～灯台150周年記念事業～ テーマ「灯台のある風景」

① 国土交通大臣賞



横浜北水堤灯台

まつやま すすむ
松山 進 様 （69歳） 神奈川県横浜市

〔審査員評〕

「灯台のある風景」という課題に対して大都市（横浜）のビル群を背にした灯台（横浜港北水堤灯台）を選んだことがまず評価される。空が完全に暗くなる直前を狙い、灯火をともした灯台のシルエットを正面に据え、その後ろを電球をたくさんつけた遊覧船が通り過ぎるのをスローシャッターでぼかして主役の灯台をひき立てるなど、よく練られた構図で背景の空とビル群、低い水平線がバランスよく配置されているのもよい。

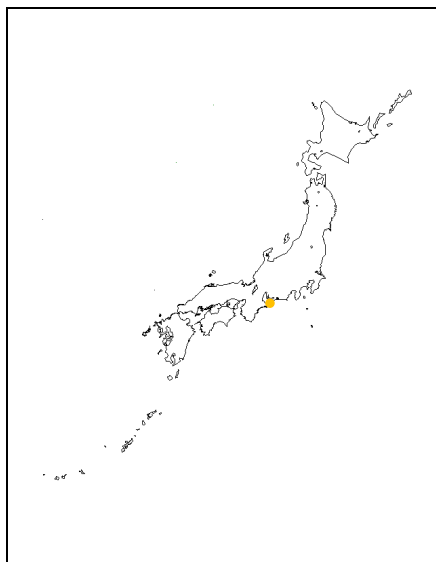


② 海上保安庁長官賞



大王埼灯台

なかにし ゆうこ
中西 裕子 様（40歳） 滋賀県蒲生郡日野町



〔審査員評〕

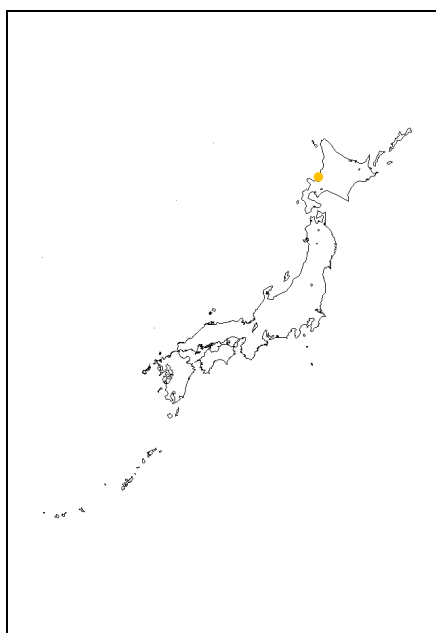
灯台に向かう上り坂や、そこを登っていく少女の後ろ姿とその影、左脇の斜めの壁、食堂の壁の出っ張り具合、その手前の屋根と三角形の影による構図がすばらしい。少し上向きに撮っているのも効果的。灯塔が小さく見えているが、パースペクティブの焦点の位置にあるので、視線がそこに誘われる。スナップ写真のようだが、芸術性が高く、見る者を惹きつける力がある。

③ 日本航路標識協会 会長賞（明治期灯台部門 優秀賞）



石狩灯台

かとう りゅうじ
加藤 竜二 様（５３歳） 北海道札幌市



〔審査員評〕

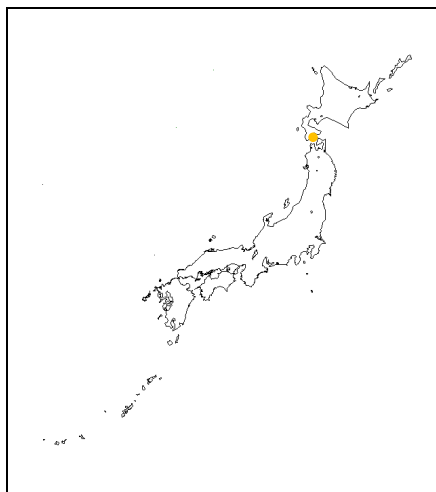
真っ赤に染まった空をキャンバスに、灯台をシルエットにして舞台を作りました。一日の終わりを告げる太陽を少しだけ入れ、そこにカップルを重ねています。灯台や太陽と人物の大きさの違いがスケール感の表現に繋がっていますし、男女が寄り添うタイミングで捉えたことで、写真に動きも感じられます。舞台設定もタイミングも上手く掴んだ秀作です。

④ 日本航路標識協会 会長賞（インスタグラム部門 優秀賞）



函館港島防波堤灯台

さなだ ようこ
真田 洋子 様（５６歳） 東京都国立市



〔審査員評〕

防波堤灯台の赤い光に目を奪われ、世界観に引きずり込まれました。美しすぎて怖いほどの情景。この船に乗ったら別の世界に連れていかれそうです。

この作品から物語や詩など、新たな作品が生み出されそうです。

⑤ 燈光会 会長賞（わたしたちの灯台部門 優秀賞）



竜神島灯台

しばさき しずお
芝崎 静雄 様（69歳） 愛媛県松山市



〔審査員評〕

全体のバランスも良く、残る煙も効果的です。花火と水面（みなも）に映る光に囲まれた灯台の存在感が更に神秘的な雰囲気を出しています。

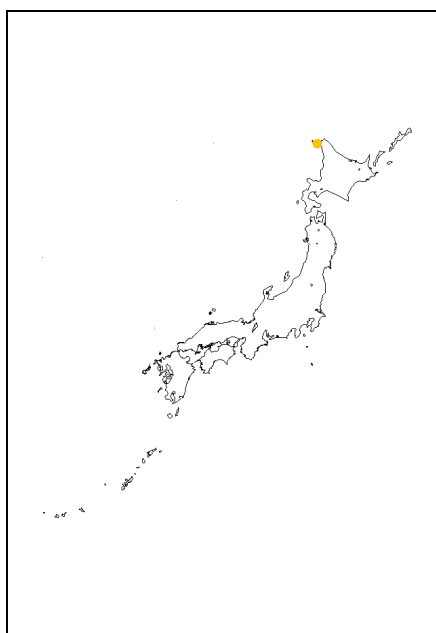
⑥ ジュニア賞（小学生の部）



杓形岬灯台

にしじま かずき
西島 一樹

様（11歳） 北海道 利尻富士町立鴛泊小学校5年



〔審査員評〕

長い年月風雪に耐え今日も問題なく点灯する灯台は、灯台守の時代から現在までの、こまめな点検や丁寧な整備によるものです。小学5年生の撮影者がこの情景を見て、その苦勞をねぎらう想いを持ったことに心が震えます。利尻山の雄大さを感じるのはもちろんですが、足場を組まれていても凜としている灯台ってやっぱり素晴らしい。

⑦ ジュニア賞（中学生の部）



角島灯台

かしま ななこ
加島 菜々子 様（13歳）福岡県 福岡市立平尾中学校2年



〔審査員評〕

空はまだ蒼いが、夕暮れに近い、少し赤みを帯びた光が水平に灯台に当たる時を選び、ローアングルで灯台の高さを強調しながら、空の青と、その下の白い雲の帯、手前の丘の緑だけによるシンプルな構成が良い。緑を途中で区切る腰壁が、立ちあがる灯塔の対比的要素として画面を引き締めている。日本海を眺める少年たちが、灯塔と非相称でバランスをとる要素になっているのも良い。

⑧ ジュニア賞（高校生の部）



石狩灯台

あきたや
秋田谷

ひとみ 様（１８歳）北海道 札幌光星高等学校３年



〔審査員評〕

飼い主の女性の表情は見えませんが、日常よく見ているこの光景に対して、なにか特別な思いをもって眺めているかのようで、そんな表情が想像できる作品です。やさしく、温かい光が横から射していて、この場にいるかのような気持ちで見ることができます。人物を中央に置き、主役としたことで、ストーリーが展開されていく作品です。

⑨ 特別賞（ジュニアの部）



犬吠埼灯台 いわはし ゆうだい 岩橋 侑大 様（１０歳） 東京都 江戸川区立臨海小学校 ５年



〔審査員評〕

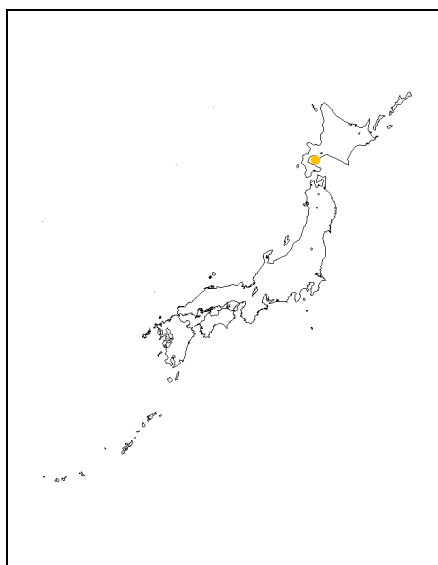
小学校五年生の作品。家族で行った灯台。カメラの視点が低く、大人では撮れない角度。灯台が、空へ向かって立ち、女の子の動きも楽しい。小学生に応募するよう勧めてくれた方に感謝いたします。

⑩ 特別賞（わたしたちの灯台部門）



チキウ岬灯台

しおたに のぶゆき
塩谷 伸之 様（４７歳） 北海道室蘭市



〔審査員評〕

月が雲間から彩りを発する画面上部と海霧が漂う幻想的な世界を灯台の光が走る画面下部という２つの世界が見事に調和し力強い表現になりました。

遠くで光っている漁船の灯りも印象的でいいポイントとなっています。写真ならではの表現で見事な作品に仕上がっています。

⑪ 特別賞（わたしたちの灯台部門）



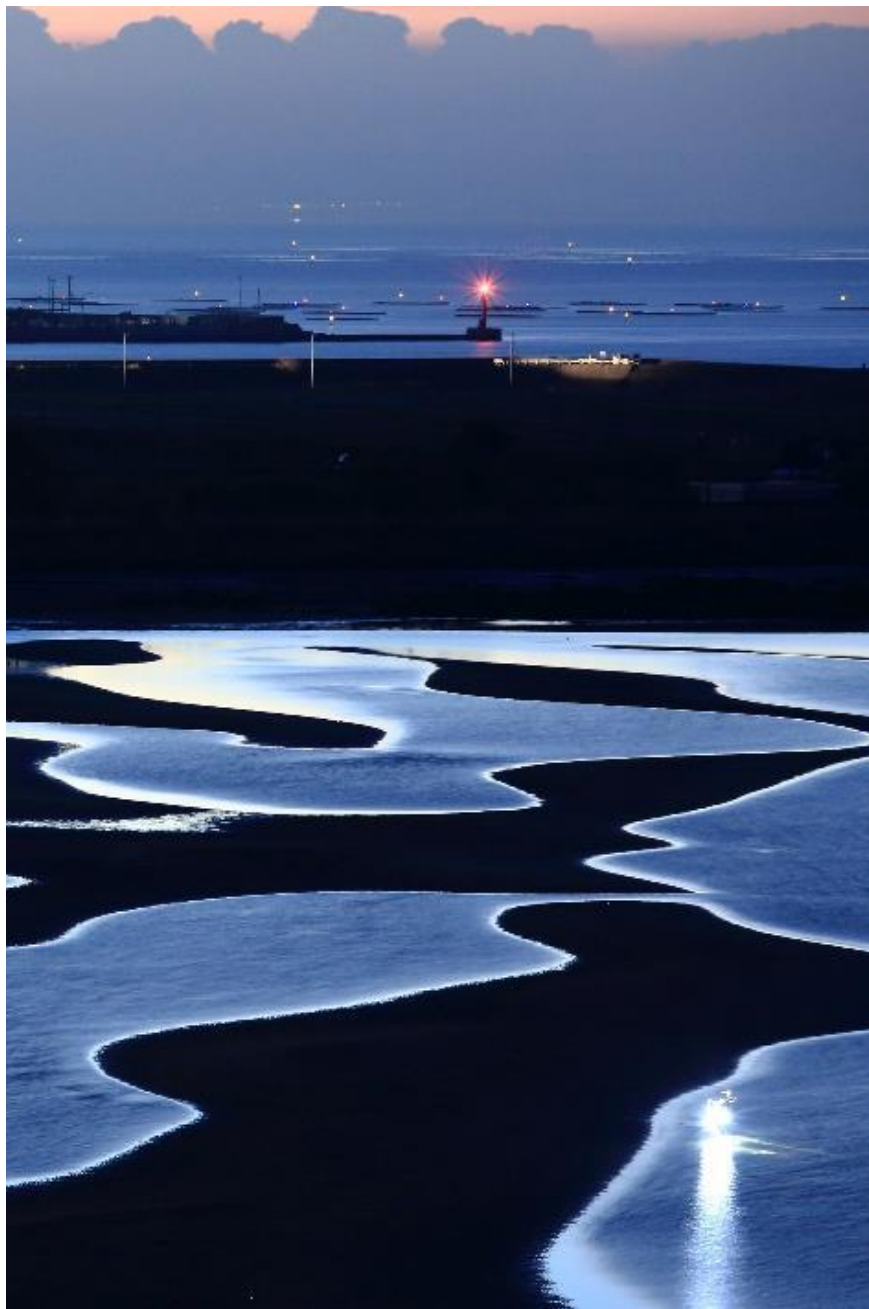
小田原港二号防波堤灯台 おざわ ひろし
小澤 宏 様（65歳） 神奈川県小田原市



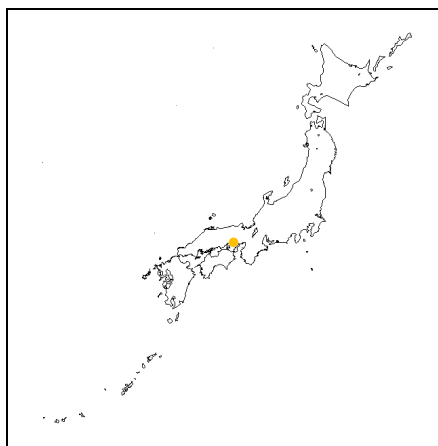
〔審査員評〕

朝日が昇る中、漁場に向け出港する漁船。スクリュウの航跡に巻き上がる小魚、狙うカモメ達。小田原提灯型の灯台と漁船、群れ飛ぶカモメ。構図、動きに語りがある。

⑫ 特別賞（わたしたちの灯台部門）



姫路港中川東防波堤灯台 ^{さとう たかし}佐藤 孝 様（４７歳） 新潟県新潟市



〔審査員評〕

空が白みはじめ防波堤手前の遠浅の平らな砂地に潮が満ちて来る。

干出部と残水部の作りだす模様とコントラスト。防波堤灯台の紅色灯、小さいが存在感がある。

⑬ 特別賞（Instagram部門）



大槌港灯台

たかはし だいき
高橋 大輝 様（36歳） 岩手県釜石市

〔審査員評〕

津波で倒壊した灯台も再建され、赤いデザイン灯台と黄色い雨具の少女が印象的です。「雨の日は天気が悪い」ではなく、雨だから撮れた良い写真ですね。

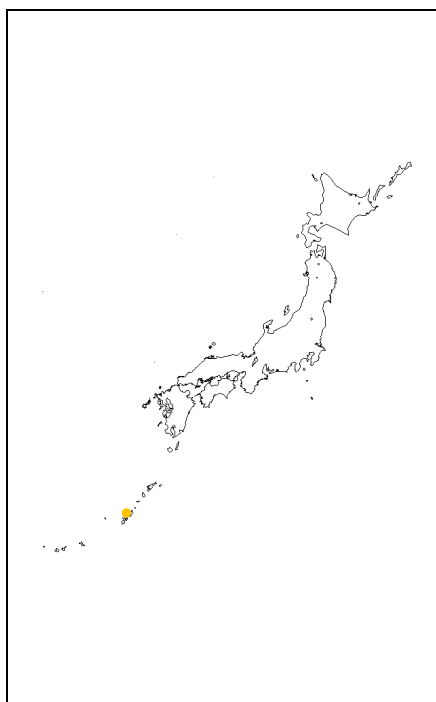


⑭ 特別賞（インスタグラム部門）



残波岬灯台

ながみね たかし
長嶺 高嗣 様（55歳） 沖縄県南城市



〔審査員評〕

一見地味な写真だが、バランスのいい構図になっている。水平線を上辺に近く高く配し、手前の入江と崖、その上の緑を大きく配して、その先に水平線を区切るように白い灯台が見えるのがいい。明るい青空に、穏やかな緑の海と荒々しい岩肌を見せる崖、その向こうに小さく見える白い灯台の対比が画面をひき立てている。構成力を感じさせる、完成度の高い作品。

⑮ 特別賞（インスタグラム部門）



犬吠埼灯台

さいとう あやか
齊藤 彩香 様（36歳） 千葉県銚子市



〔審査員評〕

五月の、爽やかな青空。灯台から張られたロープに、鯉のぼりが泳ぐ。

灯台も、子供達の成長を、明るく見守ってくれている。

①⑥ 特別賞（インスタグラム部門）



紀伊日ノ御埼灯台

瀬谷^{せや}佳子^{よしこ} 様（28歳） 大阪府大阪市



〔審査員評〕

絵本の世界みたい！満点の星空の元で灯台を見上げる人物は誰でしょう。 灯台守かな、月の使者かな……。そして建て直されたばかりの紀伊日御埼灯台は、灯塔の質感が独特の風合いを醸し出しています。旧灯台の思い出も含めて新灯台が末永く愛されますように。